

平成29年8月23日

愛知県環境影響評価審査会

会長 松尾直規様

愛知県環境影響評価審査会

中部国際空港沖公有水面埋立部会

部会長 井上隆



中部国際空港沖公有水面埋立事業環境影響評価方法書について（報告）

平成29年6月9日に審査を依頼されたこのことについては、別添のとおり
です。

中部国際空港沖公有水面埋立事業環境影響評価方法書に関する部会報告

はじめに

中部国際空港沖公有水面埋立事業環境影響評価方法書について、環境の保全の見地から慎重に検討を行った。

事業者は、以下の事項について十分に検討した上で、適切に環境影響評価を実施し、その結果を踏まえ環境影響評価準備書（以下「準備書」という。）を作成する必要がある。

1 全般的事項

- (1) 埋立地の計画容量の根拠を明らかにするとともに、事業計画及び工事計画について、より具体的に示すこと。
- (2) 事業計画及び工事計画の具体化に当たっては、環境の保全に関する最新の知見を考慮し、最善の利用可能技術を導入するなど、より一層の環境影響の低減について検討すること。なお、埋立地に投入する土砂の性状等にも留意すること。
- (3) 埋立地の規模、施工位置、形状、構造等（以下「規模等」という。）の具体化に当たっては、水環境並びに動植物及び生態系等への影響を回避、低減するよう検討すること。また、埋立地の規模等については、実現可能な複数案を設定し、環境影響評価の結果等を踏まえ比較評価するとしていることから、その経緯及び内容について、具体的かつできる限り定量的に示すこと。
- (4) 本事業は、工事期間が長期にわたること及び複数に工区分割することが想定されており、工区の形状や施工順等によっては、工事途中の環境影響が最大になるおそれがある。このため、完成した時点だけでなく、工事途中の埋立地の形状等を踏まえて予測及び評価を行うこと。
- (5) 調査地点、期間、頻度、方法等の調査手法及び予測手法については、その設定理由をわかりやすく示すこと。なお、調査、予測及び評価に当たっては、中部国際空港建設事業の環境影響評価及び環境監視の結果を参考とすること。
- (6) 本事業では、多くの項目で文献その他の資料調査により現況を把握しているが、既存の調査結果を使用する場合は、その出典を明らかにするとともに、調査地点、期間、頻度、方法等の調査手法が、本事業の環境影響評価に適用できるものであるか確認すること。
- (7) 環境影響評価の実施中に環境への影響に関し新たな事実が生じた場合等においては、必要に応じて、環境影響評価の項目及び手法を見直し、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

2 水環境

- (1) 工事の実施に伴う土砂による水の濁り並びに埋立地の存在による流向及び流速の変化等の水環境への影響が懸念されることから、適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ適切な環境保全措置を検討し、環境影響の回避、低減に努めること。
- (2) 中部国際空港の西側に流向及び流速の調査地点が1地点設定されているが、流向及び流速の変化により、水環境を始め生態系等への影響が懸念されることから、現況再現性を高めるため、必要に応じて調査地点を追加すること。また、3次元モデルによる流動の計算においては、必要に応じて専門家等の指導、助言を得ながら、予測条件等を適切に設定することなどにより、予測の精度を確保すること。

3 動物、植物及び生態系

- (1) 本事業の対象事業実施区域が位置する伊勢湾は、生物の生産性が高く、多様な生物の生息・生育の場として豊かな生態系を有していることに加え、スナメリやアカウミガメ等の重要な種が確認されていることから、本事業の実施に伴う海域の動植物の生息・生育環境への影響が懸念される。このため、海域の動植物及び生態系への影響について、専門家等の指導、助言を得ながら、適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ適切な環境保全措置を検討し、環境影響の回避、低減に努めること。
- (2) 名古屋港で発生する浚渫土砂の新たな処分場計画の環境影響に関する検討書に対する主務大臣の意見において、ポートアイランドにおける鳥類の調査等を行うよう述べられているが、方法書においては、鳥類に係る調査地点にポートアイランドが含まれていない。このため、ポートアイランドを調査地点に追加した上で、仮置きされている浚渫土砂の搬出に伴う鳥類への影響について適切に調査、予測及び評価を行うこと。
- (3) 調査において、重要な種が確認された場合には、必要に応じて専門家等の指導、助言を得ながら、適切な環境保全措置を検討すること。

4 その他

準備書の作成に当たっては、住民等の意見を十分に検討するとともに、わかりやすい図書となるよう努めること。

検 討 の 経 緯

年 月 日	会 議	備 考
平成29年6月9日	審 査 会	知事からの諮問 方法書の内容の検討 住民意見の概要の検討 部会の設置及び付託
平成29年7月5日	部 会	方法書の内容の検討 住民意見の概要の検討
平成29年7月25日	部 会	方法書の内容の検討 関係市町長意見の検討 部会報告の検討

愛知県環境影響評価審査会中部国際空港沖公有水面埋立部会構成員

生田 京子	名城大学理工学部准教授
◎井上 隆信	豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授
○大石 弥幸	大同大学情報学部教授
片山 直美	名古屋女子大学家政学部教授
富田 寿代	鈴鹿大学国際人間科学部教授
中野 正樹	名古屋大学大学院工学研究科教授
二宮 善彦	中部大学工学部教授
橋本 啓史	名城大学農学部准教授
増田 理子	名古屋工業大学大学院工学研究科教授
宮崎 多恵子	三重大学大学院生物資源学研究科准教授
山澤 弘実	名古屋大学大学院工学研究科教授

◎部会長 ○部会長代理

(敬称略、五十音順)